



第71期中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

証券コード6282

 **オイルス工業株式会社**

株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第71期第2四半期（2021年4月1日～2021年9月30日）の営業概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で一進一退の状況にあり、輸出の増加を受けた製造業が堅調な一方、度重なる緊急事態宣言の発令によって観光業や飲食業は低迷が続くといった二極化が鮮明でした。当社の属する製造業においては、輸出の増加を背景に生産用機械や電気機械は堅調だった一方、輸送機器では東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大に伴う減産が業績を下押しするなど、業種によってばらつきが出てきております。このような状況のもと当企業グループでは選択と集中をグループ全体にわたって徹底し、成長市場への取り組みを一層強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28,615百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益は2,644百万円（前年同期は226百万円の営業利益）、経常利益は2,919百万円（前年同期比456.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,918百万円（前年同期比477.2%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

軸受機器

オイルレスベアリングは無給油あるいは給油の回数や量を大幅に減少させることができ、省資源・環境への配慮の観点から自動車をはじめ各種産業機械などに幅広く採用されております。



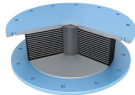
一般産業向け製品においては、インフラ整備の進捗と設備投資の回復とともに建設機械・成形機向けや半導体製造装置等のFA機器向けが増加したことに加え、再生可能エネルギー分野向けが売上増加を後押ししました。自動車向け製品においては、半導体供給不足の影響を受けつつも、自動車生産台数が前年同期と比較して高い水準を維持したこともあり、売上、利益とも大きく回復しました。

この結果、軸受機器の売上高は20,173百万円（前年同期比41.2%増）、セグメント利益は1,885百万円（前年同期は893百万円のセグメント損失）となりました。

売上高構成比
70.4%

構造機器

オイルレスベアリングの長年にわたる研究開発で培ったトライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑）技術から派生して開発された免震・制震の技術は、人命、社会的財産や都市機能などを地震から守ります。



建築向け製品は都市再開発物件や大型倉庫物件で堅調な売上となりましたが、橋梁向け製品を中心に工期の遅れ等により第3四半期以降への出荷のずれ込みがありました。

この結果、構造機器の売上高は5,095百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント利益は707百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

売上高構成比
17.8%

建築機器

風、太陽光を自在に操り、快適で安全な室内環境を実現する建築機器製品は高層ビル、公共施設、病院や住宅などあらゆる建築物に採用されております。



住宅用外付けブラインド「ブライユ」は手動タイプの売上とメンテナンス関連の引き合いが堅調に推移しましたが、ビル向けの主力製品である排煙・換気用装置「ウィンドウ オペレーター」は、緊急事態宣言や五輪期間の影響を受け第3四半期以降へ工期がずれました。

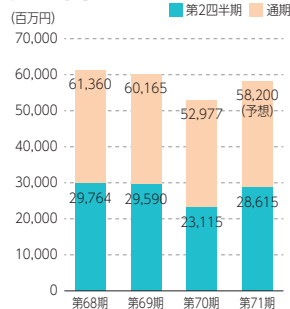
この結果、建築機器の売上高は2,674百万円（前年同期比6.4%減）、セグメント利益は48百万円（前年同期比59.9%減）となりました。

売上高構成比
9.3%

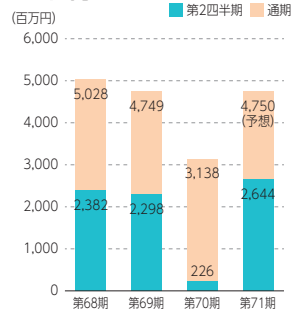


営業成績及び財産の状況の推移（連結）

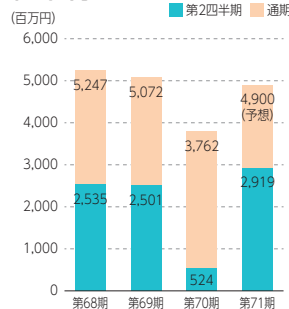
売上高



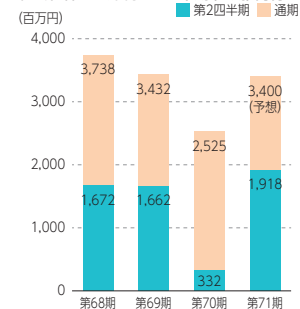
営業利益



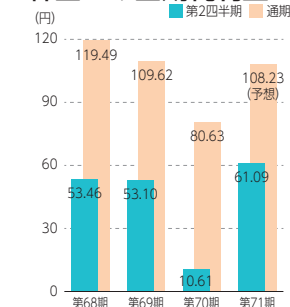
経常利益



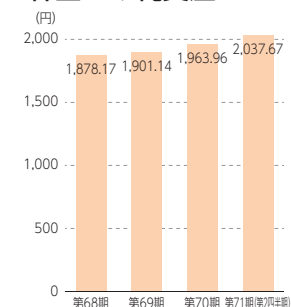
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



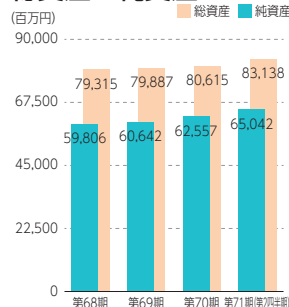
1株当たり当期純利益



1株当たり純資産



総資産・純資産



今後の見通しについて、当企業グループを取り巻く環境は大きく変化しております。新型コロナウイルス感染症は、経済・企業活動に依然影響を与えており、また、半導体不足等に伴う自動車の減産や原材料価格の上昇など、2022年3月期下期以降も不透明要因が継続するものと考えております。この前提の下、現時点における2022年3月期の当企業グループ全体の売上高は58,200百万円、営業利益は4,750百万円、経常利益は4,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,400百万円を予想しております。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長

飯田 昌弥

四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	期 別	前期末 (2021年 3月31日)	当第2四半期末 (2021年 9月30日)	科 目	期 別	前期末 (2021年 3月31日)	当第2四半期末 (2021年 9月30日)
資産の部				負債の部			
流動資産				流動負債			
現金及び預金		21,572	23,573	支払手形及び買掛金		5,423	5,879
受取手形及び売掛金		17,889	16,463	1年内返済予定の長期借入金		1,090	1,090
商品及び製品		3,844	4,080	未払法人税等		494	890
仕掛品		3,247	3,457	賞与引当金		1,026	1,072
① 原材料及び貯蔵品		2,535	3,263	役員賞与引当金		88	47
その他		861	1,208	株主優待引当金		118	14
貸倒引当金		△44	△48	その他		2,709	2,743
流動資産合計		49,905	51,998	流動負債合計		10,950	11,739
固定資産				固定負債			
有形固定資産				③ 長期借入金		5,297	4,560
建物及び構築物（純額）		9,330	9,304	役員退職慰労引当金		63	63
機械及び装置（純額）		5,071	4,883	役員株式給付引当金		69	82
土地		2,895	2,906	退職給付に係る負債		478	403
その他（純額）		4,777	4,773	その他		1,197	1,245
有形固定資産合計		22,075	21,868	固定負債合計		7,107	6,356
無形固定資産		369	359	負債合計		18,058	18,095
投資その他の資産				純資産の部			
② 投資有価証券		6,128	6,625	株主資本			
退職給付に係る資産		113	108	資本金		8,585	8,585
その他		2,037	2,193	資本剰余金		9,610	9,610
貸倒引当金		△15	△15	利益剰余金		46,955	48,072
投資その他の資産合計		8,264	8,911	自己株式		△5,144	△5,028
固定資産合計		30,709	31,139	株主資本合計		60,006	61,239
資産合計		80,615	83,138	その他の包括利益累計額			
				その他有価証券評価差額金		1,835	2,192
				為替換算調整勘定		△65	785
				退職給付に係る調整累計額		△187	△160
				その他の包括利益累計額合計		1,582	2,816
				非支配株主持分		967	986
				純資産合計		62,557	65,042
				負債純資産合計		80,615	83,138

POINT① 原材料及び貯蔵品

売上回復による材料仕入の増加となります。

POINT② 投資有価証券

期末時価の上昇により、前期末比で増加しております。

POINT③ 長期借入金

シンジケートローンの一部の返済、及び株式給付信託（従業員持株会処分型）に伴う借入金の返済により減少いたしました。

四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
① 売上高	23,115	28,615
売上原価	16,018	18,980
売上総利益	7,096	9,634
② 販売費及び一般管理費	6,870	6,990
営業利益	226	2,644
営業外収益		
受取利息	45	29
受取配当金	85	91
③ 受取保険金	5	117
為替差益	13	5
助成金収入	159	6
その他	51	73
営業外収益合計	359	323
営業外費用		
支払利息	11	13
デリバティブ評価損	36	19
その他	13	15
営業外費用合計	61	48
経常利益	524	2,919
特別利益		
投資有価証券売却益	16	10
特別利益合計	16	10
特別損失		
固定資産処分損	39	42
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	62	—
特別損失合計	101	42
税金等調整前四半期純利益	439	2,886
法人税等	100	919
四半期純利益	338	1,967
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	332	1,918

POINT① 売上高

軸受機器セグメントは、一般産業向け製品においては、インフラ整備の進行と設備投資の回復により、売上が増加いたしました。自動車向け製品においては、半導体供給不足の影響を受けつつも、自動車生産台数が前年同期と比較して高い水準を維持しました。構造機器セグメントは、建築向けでは都市再開発物件や大型倉庫物件で堅調な売上となりましたが、橋梁向け製品を中心に工期の遅れ等により第3四半期以降への出荷のずれ込みがありました。

POINT② 販売費及び一般管理費

売上回復により出荷回数が増加したものであります。(荷造運搬費)

POINT③ 受取保険金

保険の解約によるものです。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	820	4,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,127	△726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△976	△1,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	△267	258
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,552	2,198
現金及び現金同等物の期首残高	21,832	20,587
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,280	22,786

トピックス

軸受機器、構造機器、建築機器

横浜市役所新庁舎をオイレスの3つのコア技術が支えています

2020年1月、横浜市の新たなランドマークとして生まれ変わった横浜市役所新庁舎。“市民が快適に憩える市庁舎”などの課題解決に対して多方向から貢献しています。事業部門間でのタイムリーかつ適切な情報共有や連携、これまでの試験解決に貢献してまいります。

建物の揺れを吸収する”球面座軸受”

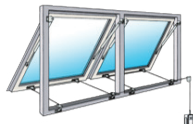
1階から3階まで吹き抜けとなっていて、晴れた日にはガラス張りの天井や壁から光が降り注ぐアトリウム。「地震発生時に、アトリウムの屋根が免震装置を設置している建物に追随して変形する」「外からの風を受けた際に揺れを受け流す」といった構造となっています。この機能を発揮するため、床下の支柱根本にある可動部位に当社の球面座軸受を採用することで、摩擦技術で建物の**安全**を支えています。

軸受事業部
(軸受機器)

オイレスECO
(建築機器)



見上げてみると？



ウィンドウ オペレーター



アトリウム

床下に…



球面座軸受

快適空間・安全を生み出す”ウィンドウ オペレーター”

アトリウム屋根部と建物コーナーに設置されている「エコボイド」(換気のための空間)の上部には電動式ウィンドウ オペレーター (換気・排煙窓開閉装置) が採用されています。環境に配慮して建てられたこの建物は特に空気の流れにこだわっており、低炭素型建築実現のため自然換気が採用されています。ウィンドウ オペレーターにより、自然の風を利用した心地よい換気やナイトパージによって**快適**な空間を生み出すだけでなく、火災発生時には有害な煙を排出して避難経路を確保し、建物内の人々の**安全**を守ります。



目指して建設されたこの建物には、当社の3事業部門すべての製品が採用されており、建物の老朽化や災害対策、環境対応データ・採用実績など当社が磨き上げてきた営業力・技術力が今回の採用につながりました。当社はこれからも社会課題の

免制震事業部 (構造機器)

新庁舎



実際に設置されているLRB・SSRを見学できるスポットも！



LRB

非常時も庁舎機能を維持する”中間層免震”

新庁舎は、免震効果・建築計画・津波浸水リスク等の総合的観点を踏まえ、「様々な危機に対処できる危機管理の中心的役割を果たす市庁舎」というコンセプトの実現を図るため、庁舎機能を維持するよう中間層免震（2階と3階の間）となっています。

高い免震効果をはじめ、設置箇所の省スペース化と免震層のコストダウンに貢献できる角型の当社製品「LRB（鉛プラグ入り天然積層ゴム支承）」と「SSR（弾性すべり支承）」が合計76基設置されており、建物内で働く方々や利用者の皆様が**安心**して過ごせるよう、日々建物の**安全**を支えています。

トピックス

ダイバーシティ目標を設定

当社は、2021年6月に改訂された(株)東京証券取引所のコーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえ、多様性確保に向けた目標（ダイバーシティ目標）を定めました。

女性

- 女性管理職及び有資格者比率：
2025年度末までに10%程度
- 女性管理職比率：2025年度に3%程度

女性

- 女性管理職比率：2030年度に5%以上

外国人

- 将来的な管理職の登用に向け、
外国人従業員数を増員
- 2025年度までに複数の管理職及び有資格者を育成

2030

2025

当社の現状

- 女性管理職比率： 0.7% (2021年3月末)
- 女性従業員比率： 11.6% (2021年3月末)
- 外国人従業員数： 5名程度
- 管理職の中途採用者比率： 38.9% (2021年3月末)

女性

- 新卒採用の女性社員比率：30%程度
(女性従業員比率の向上を目指す)

中途採用者

- 管理職に占める中途採用者の比率：30%～40%
(中長期的にも現状水準維持)

2021

統合報告書の発刊

当社では2017年からC S R報告書を作成しておりましたが、2021年からは「統合報告書」へと形を変えます。株主の皆様をはじめとした幅広い読者の皆様に、当社のご理解を深めていただけるよう、今後も内容の一層の充実に努めてまいります。詳細につきましては下記URLからアクセスいただきご覧ください。

<https://www.oiles.co.jp/corporate/csr/>



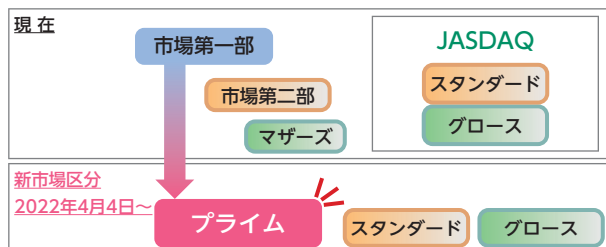


東証プライム市場の選択

2021年7月9日付で(株)東京証券取引所から「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、新市場区分における「プライム市場」への上場維持基準に適合していることを確認いたしました。

この結果を受け、当社は、新市場区分として「プライム市場」を選択することといたしました。プライム市場へ移行後も中長期的な企業価値向上に継続して努めてまいります。

株主の皆様におかれましてはより一層のご支援をいただきますようお願いいたします。



藤沢事業場 N P 棟 竣工

2018年11月2日に公表した藤沢事業場 研究開発拠点再編の一環として建築していた新棟（NP棟）が本年11月6日に竣工いたしました。太陽光パネルを設置するなど環境に配慮した建物となっています。

NP= New Production of Engineering Plastics



〔建物概要〕 鉄骨構造・地上3階建て
建築面積：3,024.57㎡ 延床面積：7,035.57㎡

中期経営計画（2021-2023）

2021～2023年度までの中期経営計画を策定し、本年5月20日に公表（2021年3月期決算説明会資料）いたしました。

中期経営方針

- グローバル経営を推進し、各事業が成長目標を実現する
- 選択と集中により、経営資源を有効活用し、技術力の強化と生産性を向上させる
- 社員の多様性を尊重し、会社とともに成長できる環境、風土をつくる

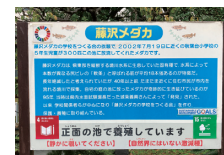
中期経営計画（連結）

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	58,200百万円	61,600百万円	64,400百万円
営業利益	4,750百万円	5,550百万円	6,450百万円
営業利益率	8.2%	9.0%	10.0%

藤沢メダカの繁殖



藤沢事業場では、生物多様性保全と地域貢献への取り組みの一環として、一度は絶滅したと考えられていた藤沢地域のみに生息する固有種「藤沢メダカ」が安心して自然繁殖できるビオトープを設置しています。2002年に地元藤沢の市民グループ「藤沢メダカの学校をつくる会」からの呼びかけに応える形で、広さ30㎡のビオトープを作り上げ、以来20年近くにわたって約10,000匹を超える藤沢メダカのふ化を見届けてきました。また、同会へ毎年約500匹の藤沢メダカを寄贈しています。



株式に関するご案内



■単元未満株式買取制度について

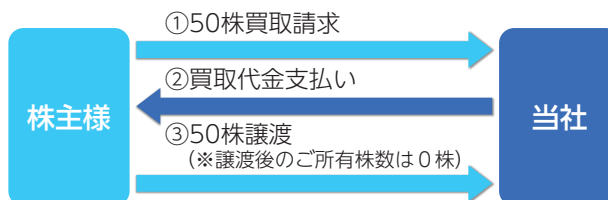
当社株式の証券市場での取引は100株（1単元）単位となっているため、単元未満株式（1～99株）は、市場で売ることができませんが、以下のお手続きによって市場価格で売却（現金化）することができます。

なお、当社は単元未満株式の買増制度は採用しておりません。

《買取請求に関するお問い合わせ先》

- 証券会社等の口座に記録された株式 → お取引の証券会社へ
- 特別口座に記録された株式 → 株主メモに記載のみずほ信託銀行証券代行部へ

（具体例：50株ご所有の場合）



■特別口座から証券会社等の口座への振替について

株券電子化に伴って、証券会社等を通じて証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の株式は、株主様の権利を守るため、みずほ信託銀行に開設された特別口座に記録されています。

特別口座にて管理されている株式100株以上を市場で売却するには、下図のとおりお手続きが必要です。

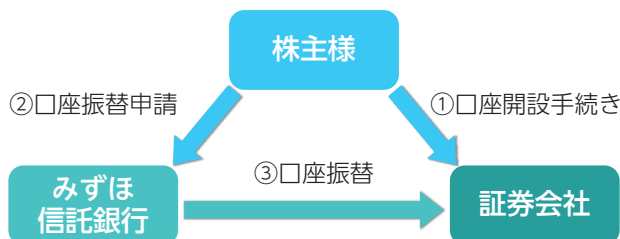
《特別口座の口座振替に関するお問い合わせ先》

みずほ信託銀行証券代行部

※詳細は**株主メモ**をご参照ください。

※特別口座とは、株券電子化（2009年1月5日）前に、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株式を管理するために、当社がみずほ信託銀行に開設した口座です。

（具体例）



株主さまアンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社a2mediaの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
<https://www.a2media.co.jp>

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード **6282**

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....



検索窓から



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



「e-株主リサーチ事務局」 (2108)
MAIL: info@e-kabunushi.com

アンケートのお問い合わせ



今回の表紙は構造機器部門の『制震壁』をイメージしています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。